

第三者評価結果報告書

種別	母子生活支援施設
----	----------

①第三者評価機関名

一般社団法人香川県福祉サービス評価機構

②評価調査者研修修了番号

H23-Y014
R3-Y001 (S2021088)

③施設名等

名称：	高松市屋島ファミリーホーム
施設長氏名：	森 真実
定員：	暫定 8 世帯
所在地(都道府県)：	非公表
所在地(市町村以下)：	非公表
T E L：	
U R L：	
【施設の概要】	
開設年月日	平成20年4月1日（指定管理開始）
経営法人・設置主体（法人名等）：	社会福祉法人 未知の会（高松市より指定管理にて運営）
職員数 常勤職員：	3 名
職員数 非常勤職員：	1 名
有資格職員の名称（ア）	保育士
上記有資格職員の人数：	4 名
有資格職員の名称（イ）	母子指導員（兼任）
上記有資格職員の人数：	1 名
有資格職員の名称（ウ）	少年指導員（兼任）
上記有資格職員の人数：	1 名
有資格職員の名称（エ）	生活指導員（兼任）
上記有資格職員の人数：	1 名
有資格職員の名称（オ）	
上記有資格職員の人数：	名
有資格職員の名称（カ）	
上記有資格職員の人数：	名
施設設備の概要（ア）居室数：	
施設設備の概要（イ）設備等：	
施設設備の概要（ウ）：	
施設設備の概要（エ）：	

④理念・基本方針

<p>【理念】 保護と癒し、そして自立への道を基本に 私たちは母子生活支援施設倫理綱領のもと、母と子が自らの力で生計を営み、他入所者とも緩やかな共同生活を過しながら将来に向けて自立できる生活基盤が整えられるよう支援します。 ○第一は外からの脅威に対する保護 ○第二は傷ついた心の癒しと新たな意欲作りのための落ち着いた環境作り ○第三は各世帯それぞれに見合った自立のための基盤作り つまり 強要でも放任でもなく、母と子が自らの力で自立しようと努力する日々の暮らしに対して支援することを基本にしています。</p> <p>「行ってらっしゃい・お帰り」を会話のスタートに ファミリーホームは家庭と同じ安らぎの場であり、同時に出発していく場所でもあるとの願いから「行ってらっしゃい・お帰り」をコミュニケーションの基礎にしています。</p> <p>関係機関、地域資源との連携を最大の力に 施設内だけの発想や自己だけで完結する支援ではなく行政分野や職種公民の区別なく互いに連携の輪を広げ協働協調することで、より専門性の高い支援の実現を目指します。</p> <p>【基本方針】 指定管理者である業務の基本方針は、高松市指定管理業務仕様書に示された①児童福祉法に基づく母子保護、②自立支援、③施設及び設備の維持管理、④施設の目的外使用等に付随する手続き等について、定められた仕様を遵守し、適正に執行して利用者の安全・安心の為の保護と自立生活への実現を目指す支援を行うこととする。</p>
--

⑤施設の特徴的な取組

目的である母子の保護と癒し自立支援をすべての基本としており、特に母体法人の保育事業、地域子育て支援事業やボランティア活動団体等と連携して、福祉精神を根底に利用者の意向を尊重した多様なサービスが提供できるように創意工夫することで、利用者の尊厳が保持でき心身ともに健やかな自立への基盤作りが実現されるよう、指導や導きを強要することなく日々の暮らしの中で前向きに努力する心と姿勢に寄り添い、優しさと慈しみを持った支援業務に努めている。

⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間（ア）契約日（開始日）	令和4年9月1日	
評価実施期間（イ）評価結果確定日	令和5年4月11日	
前回の受審時期（評価結果確定年度）	令和元年度	

⑦総評

【特に評価の高い点】

<指導や強制をするのではなく、施設全体で入所者の気持ちに寄り添い見守る支援を実施している>
 日々の暮らしの中で前向きに努力する心と姿勢に寄り添い、優しさと慈しみを持って見守り、必要に応じて助言することにより、入所者一人ひとりが自己肯定感を高め自身の生活を主体的に考えられるよう支援することを施設の基本としている。
 入所者が自らの力で生計を営み安定した生活を送れるよう、職員は指導や強制をするのではなく入所者とともに考え支援しており、母子生活支援施設の第一の目的である保護と癒しのみでなくその先の生活を見据えて支援している。
 利用者調査からも、入所者が職員に信頼を寄せて安心して生活できている様子が伺われた。

【改善が求められる点】

<施設の運営は指定管理業務として高松市より受託した業務であるため、支援の範囲が限られてしまう>
 委託者である高松市と緊密に連携し、常に指導や確認を受けながら質の高い支援を実施しており、また施設全体で支援の質の向上に意欲的に取り組む姿勢は特筆すべき点であるが、家族・親族との関係調整や地域の学校教育への協力等、高松市が求めている活動について積極的に実施することに困難を感じている。今後も引き続き高松市と協議を重ねることにより、これまでも増して入所者に寄り添った支援ができるよう、支援の幅の拡充に繋がるより一層の取り組みに期待したい。

⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

4回目の今期受審は、母子の抱える諸事情がますます深刻且つ重篤な心的課題へと変容する中で、求められる日々の対応業務とリアルタイムに向き合いながら、職員の必要適切な支援への意識づくりの貴重な機会となり、職務へのモチベーション向上に役立ちました。
 小規模である本施設の特徴を活かし、求められる個々世帯に見合う支援業務の実現に向け、職員の自発性や主体性をもって関係機関との連携を密にし、効率的で継続性ある施設運営の確立に努力します。

⑨第三者評価結果（別紙）

（別紙）

第三者評価結果（母子生活支援施設）

共通評価基準（45項目） I 支援の基本方針と組織

1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		第三者 評価結果
①	1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b
	<input type="checkbox"/> 理念、基本方針が法人、施設内の文書や広報媒体（パンフレット、ホームページ等）に記載されている。	○
	<input type="checkbox"/> 理念は、法人、施設が実施する支援の内容や特性を踏まえた法人、施設の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。	○
	<input type="checkbox"/> 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるような具体的な内容となっている。	○
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、母親と子どもへの周知が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。	
【コメント】		
<p>母子の保護と癒しおよび自立を柱とした理念・基本方針を明文化し、その内容は、母子生活支援施設としての施設の特徴を踏まえたものとなっている。入所者に配布するパンフレットや聴き取りからも、それらの周知を図っていることが確認できる。今後は、職員会や入所者との集会の機会を活用して周知状況を継続的に確認する等、理念の浸透に向けたさらなる取り組みに期待したい。</p>		

2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		第三者 評価結果
①	2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a
	<input type="checkbox"/> 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。	○
	<input type="checkbox"/> 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの数・母親と子ども像等、支援のニーズ、潜在的に支援を必要とする母親と子どもに関するデータを収集するなど、施設（法人）が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に支援のコスト分析や施設入所を必要とする母親と子どもの推移、利用率等の分析を行っている。	○
【コメント】		
<p>運営法人において、社会福祉事業全体の動向および地域の各種福祉計画について把握・分析を行っている。施設は、高松市の指定管理制度により管理・運営されているが、運営法人は、継続して施設を運営できるよう、入札前に支援のコスト分析や入所者の推移・利用率の分析・検討を慎重に行っている。</p>		
②	3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	c
	<input type="checkbox"/> 経営環境や支援の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。	○
	<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、役員（理事・監事等）間での共有がなされている。	○
	<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。	
	<input type="checkbox"/> 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。	
【コメント】		
<p>指定管理制度による運営のため、あらかじめ定められた仕様を遵守しなければならず、施設が主体となって経営課題の解決・改善に取り組める環境とは言い難く、運営法人においてもこの点に困難を感じている。経営状況や改善すべき課題については役員間での共有がなされているが、今後はそれを可能な限り職員に共有することで、限られた裁量の範疇でも役員・職員が一体となって運営の向上を図るべく、より一層の取り組みに期待したい。</p>		

3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	第三者 評価結果
<p>① 4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。</p> <p><input type="checkbox"/> 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。</p> <p><input type="checkbox"/> 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。</p>	<p>b</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
【コメント】	
<p>中長期計画書を策定し、その内容は理念・基本方針の実現に向けて経営課題や問題点の解決・改善がなされるような具体的な内容となっている。中長期計画書は施設の指定管理の公募毎に策定し、必要に応じて見直しを行っている。今後は、理念・基本方針の実現に向けて、計画途中や計画期間の終了後に振り返りを行う機会を設ける等、実施状況の評価についてさらなる取り組みがなされることを期待したい。</p>	
<p>② 5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 単年度の計画(事業計画と収支予算)に、中・長期計画(中・長期の事業計画と中・長期の収支計画)の内容が反映されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 単年度の計画は、実行可能な具体的な内容となっている。</p> <p><input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。</p> <p><input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。</p>	<p>b</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
【コメント】	
<p>単年度の事業計画は、中長期の事業計画や収支計画に基づき策定している。その内容は、母子の自立促進への支援に関する事業、子育て支援に関する事業、地域交流に関する事業、職員の能力向上のための事業に分類し、実行可能かつ理念や基本方針に沿った具体的な内容となっている。今後は、単年度の事業計画にも目標や具体的な成果を示し実施状況の評価を行えるような内容とすることにより、事業計画の実効性が高められるよう期待したい。</p>	
(2) 事業計画が適切に策定されている。	
<p>① 6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。</p> <p><input type="checkbox"/> 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)されており、理解を促すための取組を行っている。</p>	<p>b</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
【コメント】	
<p>事業計画は、職員会や役員会による合議のもと策定されており、入所者と直接関わる職員が参画することで施設や入所者の実情に沿ったものとなっている。また、事業計画の内容は施設全体で共有されている。事業計画の実施状況についても評価・見直しを行っているが、今後はその時期や手順をあらかじめ決めておくことにより、評価・見直しによって施設運営がより適正化されることを期待したい。</p>	

②	7 事業計画は、母親と子どもに周知され、理解を促している。	a
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容が、母親と子どもに周知（配布、掲示、説明等）されている。	○
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を子ども会や母親会等で説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、母親と子どもがより理解しやすいような工夫を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 事業計画については、母親と子どもの参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。	○

【コメント】

施設は、掲示や配布資料、毎月実施する「母子の会」や日々のかかわりを通じて、事業計画を入所者に説明している。入所者の認知能力に応じた個別的なかわりをすることによって事業計画の理解促進とその実行に努めており、この点については利用者調査からも満足度が高いことが伺われた。

4 支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		第三者 評価結果
①	8 支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a
	<input type="checkbox"/> 組織的にPDCAサイクルにもとづく支援の質の向上に関する取組を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 支援の内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析・検討する場が、施設として位置づけられ実行されている。	○

【コメント】

高松市（指定管理委託者）に定期的に業務報告を行う際、自立支援状況を含めた施設の現況や課題を明らかにし、また市の担当者や外部の専門家と適宜協議することによって、施設の内外から支援の質の向上に努めている。第三者評価は、あらかじめ定めた方法に基づいて自己評価を年に1回実施し、受審期毎に第三者評価を受審している。評価結果や施設内外の分析・検討によって明らかになった課題を施設全体で改善・解決する体制を確立している。

②	9 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b
	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。	
	<input type="checkbox"/> 職員間で課題の共有化が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。	○

【コメント】

取り組むべき課題については、職員会やケース会にて職員間で共有し、改善策を策定して計画的に実施している。施設全体で課題の解決・改善のための取り組みに日々努めているが、今後は、第三者評価や外部評価の受審によって分析した結果やそれに基づく課題を文書化することによって共通理解を深め、より一層課題の解決・改善の実効性が高まることを期待したい。

II 施設の運営管理

1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。		第三者 評価結果
①	10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの施設の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任について、施設内の広報誌等に掲載し表明している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 平常時のみならず、有事(事故、災害等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。	○
【コメント】		
施設長の役割と責任は、業務概要や業務分担表等の文書により明確に表明している。職員に対しては、各種会議にて折に触れて説明し周知を図っている。有事における施設長の役割と責任についても、指定管理委託者である高松市への報告や指示の仰ぎ方を含め、危機管理マニュアルにて入所者の保護と安全を第一に対応できるよう詳細に定めている。		
②		a
11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	<input type="checkbox"/> 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。	○
	【コメント】	
中長期計画書に「関係法令等の遵守体制」の項目を設け、遵守すべき法令を把握するための具体的な方法や職員の法令遵守に資する研修機会の確保、その確認体制を明記している。施設長は、中長期計画書に定められた法令遵守のための各項目を実行し、利害関係者との適正な関係の保持や県内外の研修への参加による情報収集、事務決裁ルールの徹底に努めている。		
(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。		
①	12 支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、支援の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、支援の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、支援の質の向上について施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、支援の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、支援の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。	○
(社会的養護共通)		
<input type="checkbox"/> 施設長は、職員の模範となるように、自己研鑽に励み、専門性の向上に努めている。	○	
【コメント】		
施設長は、指定管理委託者である高松市へ定期的に業務報告を行い、その際に業務の評価や指導を受け、支援の質の向上について定期的かつ継続的に評価・分析を行っている。職員に対しても、各種研修、ケース会および関係者会議等により外部の関係者や専門家と接触する機会を確保し、支援の質の向上について積極的に取り組めるよう指導力を発揮している。		

②	13 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、施設(法人)の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、施設内に同様の意識を形成するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	○

【コメント】

指定管理業務として施設の運営を受託する際に、継続して運営できるよう、委託期間の人事や労務および財務について記載した収支予算書を策定している。あらかじめ高松市へ提出した収支予算書や仕様書・事業計画書に沿って施設を運営しているが、職員会や入所者との日々のかかわりで表出された課題は施設内で検討し、高松市との協議を経て経営の改善や業務の実効性の向上に努めている。

2 福祉人材の確保・育成

(1)	福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	第三者 評価結果
①	14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a
	<input type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。	○
	<input type="checkbox"/> 支援に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。	○
	<input type="checkbox"/> 計画にもとづいた福祉人材の確保や育成が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。	○
	(社会的養護共通)	
	<input type="checkbox"/> 各種加算職員の配置に積極的に取り組み、人員体制の充実に努めている。	○

【コメント】

運営法人において、香川県福祉人材センターや職業紹介機関を活用し必要な福祉人材の確保を計画的に行っている。専門職の配置については、入所者数の減少や財源を鑑み、必要に応じて外部の専門家に委託することでそれぞれの入所者に最適な支援ができるよう計画・実施している。福祉人材の定着・育成については、外部研修の受講や施設内の事例研究を行う等、運営計画や事業計画に沿って組織的に実施している。

②	15 総合的な人事管理が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 法人、施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にし、職員自らが将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みができています。	○
	<input type="checkbox"/> 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。	○
	<input type="checkbox"/> 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。	○

【コメント】

運営法人にて「人事委員会制度」を設けている。面談や人事評価シートによって職員の意向や意見を把握し、運営法人および施設の理念の実現に向けてあらかじめ定めた時期と手法によって各職員の職務遂行能力や成果・貢献度等を評価し、総合的な人事管理を行っている。

(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

①	16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の相談窓口を施設内に設置するなど、職員が相談しやすいような仕組みの工夫をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 改善策については、人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。	○
	<input type="checkbox"/> 福祉人材の確保、定着の観点から、施設の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。	○

【コメント】

職員の就業状況や意向の把握を含めた労務管理全般は、運営法人にて総合的に実施している。理事長や上長との個別面談のほか、年1回アンケートを実施し、部署異動の希望や就業状況全般の意見を聴取することとしている。職員が安心して継続勤務できるよう、把握した意見・意向をもとに改善策を検討・実施し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

①	17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。	○
	<input type="checkbox"/> 個別面接を行う等施設の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標(目標項目、目標水準、目標期限)が明確かつ適切に設定されている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。	○

【コメント】

運営法人が主体となり、職員の業務適格性と資質の向上を目指して一人ひとりの育成に努めている。個々の職員が目標を設定し、設定した目標は半期ごとに見直すこととしている。目標を見直す際は自己評価を行い、その自己評価をもとに理事長や上長との面談を実施して目標達成度の確認を行っている。法人全体で、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みを構築し、かつそれが機能している。

②	18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設が目指す支援を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。	○
	<input type="checkbox"/> 現在実施している支援の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、施設が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。	○
	<input type="checkbox"/> 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に計画の評価と見直しを行っている。	
	<input type="checkbox"/> 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。	

【コメント】

職員の教育・研修に関する基本方針は、中長期計画書や年度毎の運営計画および研修計画に明記している。各種計画を策定・実行することにより、職員一人ひとりの能力に応じた資質向上や士気高揚のための教育・研修を実施し、計画の実行にあたっては常に評価と見直しを意識している。今後は、評価・見直しについて標準的な方法を文書化することにより、定期的な教育・研修内容の拡充の機会が担保されるよう、より一層の取り組みに期待したい。

③	19 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	a
	<input type="checkbox"/> 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。	○
	<input type="checkbox"/> 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。	○
	(社会的養護共通) <input type="checkbox"/> スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性や施設の組織力の向上に取り組んでいる。	○

【コメント】

職員の研修については、研修計画に基づき、職員の経験や職種および資質に応じた施設内外の研修機会を確保している。研修の報告書や職員別の受講履歴等により、各職員の状況を把握している。OJTや日常業務でのかかわりを通じて、職員が上長に相談しやすい環境づくりに配慮している。施設長を中心としたスーパービジョン体制を整備しており、職員の専門性や施設の組織力の向上に努めている。

(4) 実習生等の支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

①	20 実習生等の支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b
	<input type="checkbox"/> 実習生等の支援に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。	○
	<input type="checkbox"/> 実習生等の支援の専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。	○
	<input type="checkbox"/> 指導者に対する研修を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。	○

【コメント】

実習生の受け入れにあたっては、研修・育成に関する基本姿勢を明文化し、あらかじめ学校側と協議して、学校側の希望を取り入れながら実習生の専門職種の特性に配慮したプログラムを整備することとしている。今後は、実習の受け入れ体制のマニュアル整備や指導者に対する研修を実施する等、実習生の研修・育成についてより積極的な取り組みが行われることを期待したい。

3 運営の透明性の確保

(1)	運営の透明性を確保するための取組が行われている。	第三者 評価結果
①	21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> ホームページ等の活用により、法人、施設の理念や基本方針、支援の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公開している。	○
	<input type="checkbox"/> 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公開している。	○
	<input type="checkbox"/> 法人、施設の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人、施設の存在意義や役割を明確にするように努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域へ向けて、理念や基本方針、施設で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。	○

【コメント】

運営法人として、法人の理念や基本方針、決算情報等を適切に公開している。高松市による調査や第三者評価を定期的に受審しその結果を公開することによって、運営の透明性の確保に努めている。母子生活支援施設という施設の特性を鑑みると施設の全ての情報を公開することは困難であるが、施設が地域からより理解され協力を得られるよう、引き続き高松市との協議を継続し、地域へ向けたより一層の取り組みがなされることを期待したい。

②	22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)における事務、経理、取引等に関するルール、職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)の事業、財務について、外部の専門家による監査支援等を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 外部の専門家による監査支援等の結果や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。	○

【コメント】

各種規程や業務分掌に基づき職務分掌と権限・責任を明確にし、職員に周知している。法人内監査を定期的に実施し運営の確認をしているほか、定期的に高松市による調査・指導を受け、指摘事項については改善を行っている。公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取り組みを組織的に行っている。

4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。	第三者 評価結果	
①	23 母親、子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの個別の状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、必要があれば職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設や母親と子どもへの理解を得るために、地域の人々に向けた日常的なコミュニケーションを心がけている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの買い物や通院等日常的な活動についても、定型的でなく個々の母親と子どものニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。	○
	(母子生活支援施設) <input type="checkbox"/> 学校の友人等が施設へ遊びに来やすい環境づくりを行っている。	○

【コメント】

中長期計画書や運営計画書に、地域との連携や貢献についての基本的な考え方を文書化している。施設の特性である入所者の保護と所在地機密機能を損なわないよう、特に施設内訪問や利用には行政機関と協議しながら慎重に取り扱うこととしているが、入所者が地域の一員として不自由なく生活できるよう、地域の社会資源利用の推奨や地域の住民との円滑な関係構築に努めている。

②	24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b
	<input type="checkbox"/> ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。	○
	<input type="checkbox"/> 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化して取り組んでいる。	
	<input type="checkbox"/> ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。	○
	<input type="checkbox"/> ボランティアに対して母親と子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。	○

【コメント】

ボランティア受け入れに関する基本姿勢、ボランティアを受け入れることの目的やその手順、実施時の配慮等の留意事項を明文化している。地域の学校教育への協力については、施設の運営・管理を委託する高松市の求めがないため取り組みが困難であるが、今後は、学校教育への協力を通じてより施設への理解が深まるよう、基本姿勢の明文化を含めたさらなる取り組みに期待したい。

(2) 関係機関との連携が確保されている。

①	25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 当該地域の関係機関・団体について、個々の母親と子どもの状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域に適当な関係機関・団体がない場合には、母親と子どものアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。	○

【コメント】

入所者の個別的な状況に応じて、必要な社会資源の提示や関係機関との連携を行っている。職員間では職員会や引継ぎによって情報を共有し課題を検討する、適宜高松市や外部専門家の指示を仰ぐ、地域の関係機関・団体とのネットワークを活用しケース会や研修会を実施する等、多角的な視点から入所者の自立の支援を検討し実施している。

(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

①	26 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)が実施する事業や運営委員会の開催、関係機関・団体との連携、地域の各種会合への参加、地域住民との交流活動などを通じて、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。	○
	(社会的養護共通) <input type="checkbox"/> 施設のもつ機能を地域へ還元したり、地域の関係機関・団体との連携等を通して、地域の具体的な福祉ニーズの把握に努めている。	○
	(5種別共通) <input type="checkbox"/> 地域住民に対する相談事業などを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。	○

【コメント】

施設は、自治会の監査役や集会の場の提供、ゴミステーションの管理当番や河川一斉清掃等の自治会活動に積極的に取り組んでいるほか、施設としても季節行事や関係者会議を催しており、積極的に地域住民や関係機関との交流を図り、福祉ニーズや生活課題の把握に努めている。地域住民に対する相談事業は指定管理業務の内容に含まれていないため積極的に実施することは難しいが、今後も高松市と前向きに協議・検討されることを期待したい。

②	27 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	c
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。	○
	<input type="checkbox"/> 多様な機関等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)が有する支援に関するノウハウや専門的な情報を、地域に還元する取組を積極的に行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行っている。	○

【コメント】

施設は、高松市の指示にない業務を実施することはできないため、高松市の指示にない本項目に関する業務については、課題に感じている。しかし、災害発生時の避難場所となったり、軽作業（特別清掃）を障害者自立支援施設に委託したりと、限られた中で真摯に取り組む姿勢が見られる。今後も高松市と協議を進め、施設の持つ福祉のノウハウを地域に還元できるようさらなる取り組みに期待したい。

Ⅲ 適切な支援の実施

1 母親と子ども本位の支援

(1) 母親と子どもを尊重する姿勢が明示されている。		第三者 評価結果
①	28 母親と子どもを尊重した支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針に、母親と子どもを尊重した支援の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもを尊重した支援の実施に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもを尊重した支援の実施に関する基本姿勢が、個々の支援の標準的な実施方法等に反映されている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの尊重や基本的人権への配慮について、施設で勉強会・研修を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。	○
【コメント】		
施設は、入所者の日々の暮らしの中で前向きに努力する心と姿勢に寄り添い、優しさや慈しみをを持った支援業務を基本とすることを表明している。職員がそれを理解し実践できるよう、掲示物や各種計画書および来所者への説明資料等の各種書面に分かりやすく記載し、定期的な勉強会や研修で理解を深めるほか、日々の支援の中でも職員間で確認し合う等、様々な方法によって入所者を尊重した支援の実施について共通理解を図り、実施している。		
②	29 母親と子どものプライバシー保護に配慮した支援が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 母親と子どものプライバシー保護について、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務等を明記した規程・マニュアル等が整備され、職員への研修によりその理解が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 規程・マニュアル等にもとづいて、プライバシーに配慮した養育・支援が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの母親と子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、母親と子どものプライバシーを守れるよう設備等の工夫を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもにプライバシー保護に関する取組を周知している。	○
【コメント】		
施設の第一の理念として入所者の保護と癒し、自立を掲げ、特にプライバシーについては厳重に配慮することとしている。施設は、入所者が安心して生活できるよう警備や施設面での生活環境を整備している。職員は、母子生活支援施設の職員としてあるべき姿勢や責務、支援の方法を明記した規程・マニュアルに基づいて支援を行っている。利用者調査からも、施設のこれらの取り組みにより、安心して生活できている様子が伺われた。		
(2) 支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
①	30 母親と子どもに対して支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	a
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針、支援の内容や施設の特性等を紹介した資料を準備している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設に入所予定の母親と子どもについては、個別に丁寧な説明を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 見学等の希望に対応している。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもに対する情報提供について、適宜見直しを実施している。	○
【コメント】		
パンフレットや来所者・見学者用のプレゼンテーション資料等の書面を複数整備して、理念や基本方針、支援の内容や施設の特性を照会した資料を準備している。特にパンフレットは施設での生活をイメージしやすいよう、写真・図・絵を効果的に使用している。入所者および入所予定者には、安心して施設での生活を送れるよう、個別の能力に応じた丁寧な説明を行い、情報提供について課題を把握した際は適宜見直しを行っている。		

②	31 支援の開始・過程において母親と子どもにわかりやすく説明している。	a
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもが自らの課題を可能な限り認識し、施設が行う支援について母親と子どもができるだけ主体的に選択できるよう、よりわかりやすくなるような工夫や配慮をして説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 支援の開始・過程における支援の内容に関する説明と同意にあたっては、保護者等の自己決定を尊重している。	○
	<input type="checkbox"/> 支援の開始・過程においては、母親と子どもの同意を得たうえでその内容を書面で残している。	○
	<input type="checkbox"/> 意思決定が困難な母親と子どもへの配慮についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。	○

【コメント】

施設は、入所者の保護・癒しおよび自立には「見守る」「寄り添う」ことが重要だと考えており、全職員が入所者の主体性を尊重して支援できるよう、支援、説明・同意および記録・保管について標準的な方法を定めている。意思決定が困難な入所者に対しても一定の方法を定めているうえ、より理解を得られるよう柔軟に対応している。

③	32 支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり支援の継続性に配慮した対応を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 支援の内容の変更にあたり、従前の内容から著しい変更や不利益が生じないように配慮されている。	○
	<input type="checkbox"/> 他の施設や地域・家庭への移行にあたり、支援の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設を退所した後も、施設として母親と子どもが相談できるように担当者や窓口を設置している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設を退所した時に、母親と子どもに対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。	○

【コメント】

全ての入所者が安心して生活できるよう、特に入所時には一人ひとりの入所背景を踏まえて支援を検討し実施している。アフターケアの記録は来所・電話を問わず全て記録し、退所後も個別の求めに応じて対応している。退所時の引継ぎについては高松市が行うこととなっているが、今後は、実際に支援を実施した施設も手順や引継ぎ文書の作成に携わることができるよう高松市に働きかけ、主体的な対応を行うことによって、より一層支援の継続性が担保されるよう期待したい。

(3) 母親と子どもの満足の向上に努めている。

第三者
評価結果

①	33 母親と子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの満足に関する調査が定期的に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもへの個別の相談面接や聴取等が、母親と子どもの満足を把握する目的で定期的に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員等が、母親と子どもの満足を把握する目的で、母親と子ども会等に出席している。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、母親と子ども参画のもとで検討会議の設置等が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。	○

【コメント】

施設は、定期的なアンケート調査や日々のかかわり、月に一回開催する「母子の会」によって、入所者が生活に不満を抱えていないか聴取し、その意見をもとに、より満足度を高められるよう支援の方法や仕組みの改善に努めている。心身の状況により意思を表明することが困難な入所者に対しても、個別的に丁寧にかかわることにより、意向を把握するよう努めている。

(4) 母親と子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。

①	34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a
	<input type="checkbox"/> 支援の実施等から生じた苦情に適切に対応することは責務であることを理解し、苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を母親と子どもに配布し説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、母親と子どもが苦情を申し出しやすい工夫を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情内容に関する検討内容や対応策、解決結果等については、母親と子どもに必ずフィードバックするとともに、苦情を申し出た母親と子どものプライバシーに配慮したうえで、公開している。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情相談内容にもとづき、支援の質の向上に関わる取組が行われている。	○

【コメント】

前項目のアンケートのほか、共用部分に意見箱を設置し、匿名でも苦情や意見を述べられるようにしている。苦情第三者委員会を設置し、把握した苦情の記録・保管や解決・公表までの流れは体系化されており、苦情解決の仕組みを確立している。苦情解決の仕組みは、掲示するほか入所者へ個別的に説明することにより周知しており、適切に機能している。

②	35 母親と子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、母親と子どもにも周知している。	a
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもが相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもに、その文書の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。	○

【コメント】

前二項目で述べた複数の方法により、入所者が職員に相談や意見を述べやすいよう、環境を整備している。また、施設は寄り添い見守ることを支援の基本としており、入所者の外出時や帰宅時には意識して会話する、強制や指導しないようにする等、全ての入所者が安心して職員に相談できるような関係の構築に努めている。特に、門扉から玄関まで約5m程度の距離を設けた「トークロード」は、コミュニケーションを図る重要な場として機能している。

③	36 母親と子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a
	<input type="checkbox"/> 職員は、日々の支援の実施において、母親と子どもが相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 意見箱の設置、アンケートの実施等、母親と子どもの意見を積極的に把握する取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 意見等にもとづき、支援の質の向上に関わる取組が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。	○

【コメント】

前項目で述べたとおり、施設は、入所者が職員に相談しやすく意見を述べやすいよう環境の整備や支援の方法に十分に配慮し、全ての職員は、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。相談や意見を受けた際は必ず記録を残すこととし、施設内で共有して迅速に改善策を検討・実施し、支援の方法や設備を見直す等、入所者からの相談や意見を支援の質の向上に役立てるよう、組織的に対応している。

(5) 安心・安全な支援の実施のための組織的な取組が行われている。

第三者
評価結果

①	37 安心・安全な支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a
	<input type="checkbox"/> リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネージャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。	○

【コメント】

施設の理念の第一に「保護」を掲げているように、入所者が安心して生活を送れるよう、全ての職員は常に入所者の安全確保に努めている。日々、職員会で情報を共有して事故発生時の対応や安全確保、報告の手順を再確認しているほか、事例収集や訓練、施設設備の点検等、入所者の安全を確保するための体制を構築しており、その実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行う仕組みを構築している。

②	38 感染症の予防や発生時における母親と子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し職員に周知徹底するとともに、定期的に見直している。	○
	<input type="checkbox"/> 担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。	○
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防策が適切に講じられている。	○
<input type="checkbox"/> 感染症が発生した場合には対応が適切に行われている。	○	

【コメント】

インフルエンザやその他感染症対策に関するマニュアルを複数整備し、施設長を責任者として役割を明確にしている。感染症の予防策や対応方法については定期的に職員間で確認を行っており、入所者に対しても主体的に予防や対策を実施できるよう、毎月開催する「母子の会」にて手洗い・うがいの励行や嘔吐物の処理方法等を伝えている。昨今のコロナ禍への対応も適切に行われており、施設全体で感染症の予防や発生時の対応に適切に取り組んでいる。

③	39 災害時における母親と子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 災害時の対応体制が決められている。	○
	<input type="checkbox"/> 立地条件等から災害の影響を把握し、発災時においても支援を継続するために「事業継続計画」(BCP)を定め、必要な対策・訓練等を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子ども及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。	○
<input type="checkbox"/> 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。	○	

【コメント】

災害時でも入所者が継続して施設で生活を送れるよう、安否確認を含めた災害発生時の対応方法を定め、事業継続計画(BCP)を策定している。定期的に避難訓練を実施し、入所者の災害に備える意識を促している。備蓄の整備は高松市の担当となっているが、災害時は施設が地域の避難場所となることを想定すると、今後は、施設としても備蓄の整備により主体的に取り組まれることを期待したい。

2 支援の質の確保

<p>(1) 支援の標準的な実施方法が確立している。</p>	<p>第三者 評価結果</p>																					
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="406 168 558 235"> <p>①</p> </td> <td data-bbox="558 168 1332 235"> <p>40 支援について標準的な実施方法が文書化され支援が実施されている。</p> </td> <td data-bbox="1332 168 1428 235"> <p>a</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="558 235 1332 291"> <p><input type="checkbox"/> 標準的な実施方法が適切に文書化されている。</p> </td> <td data-bbox="1332 235 1428 291"> <p>○</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="558 291 1332 347"> <p><input type="checkbox"/> 標準的な実施方法には、母親と子どもの尊重や権利擁護とともにプライバシーの保護に関わる姿勢が明示されている。</p> </td> <td data-bbox="1332 291 1428 347"> <p>○</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="558 347 1332 403"> <p><input type="checkbox"/> 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。</p> </td> <td data-bbox="1332 347 1428 403"> <p>○</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="558 403 1332 470"> <p><input type="checkbox"/> 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。</p> </td> <td data-bbox="1332 403 1428 470"> <p>○</p> </td> </tr> </table>	<p>①</p>	<p>40 支援について標準的な実施方法が文書化され支援が実施されている。</p>	<p>a</p>		<p><input type="checkbox"/> 標準的な実施方法が適切に文書化されている。</p>	<p>○</p>		<p><input type="checkbox"/> 標準的な実施方法には、母親と子どもの尊重や権利擁護とともにプライバシーの保護に関わる姿勢が明示されている。</p>	<p>○</p>		<p><input type="checkbox"/> 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。</p>	<p>○</p>		<p><input type="checkbox"/> 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。</p>	<p>○</p>							
<p>①</p>	<p>40 支援について標準的な実施方法が文書化され支援が実施されている。</p>	<p>a</p>																				
	<p><input type="checkbox"/> 標準的な実施方法が適切に文書化されている。</p>	<p>○</p>																				
	<p><input type="checkbox"/> 標準的な実施方法には、母親と子どもの尊重や権利擁護とともにプライバシーの保護に関わる姿勢が明示されている。</p>	<p>○</p>																				
	<p><input type="checkbox"/> 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。</p>	<p>○</p>																				
	<p><input type="checkbox"/> 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。</p>	<p>○</p>																				
<p>【コメント】</p>																						
<p>理念や基本方針をもとに利用者に寄り添い優しさと慈しみをを持った支援を実施できるよう、標準的な支援の実施方法を文書化している。標準的な実施方法について職員ごとに差異が生じないように、研修や事例研究等で職員に周知徹底し、および実施状況をその都度確認している。支援について、標準的な実施方法を確立し、適切に実施されているか否か確認する体制を構築している。</p>																						
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="406 649 558 716"> <p>②</p> </td> <td data-bbox="558 649 1332 716"> <p>41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。</p> </td> <td data-bbox="1332 649 1428 716"> <p>b</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="558 716 1332 772"> <p><input type="checkbox"/> 支援の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が施設で定められている。</p> </td> <td data-bbox="1332 716 1428 772"> <p></p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="558 772 1332 828"> <p><input type="checkbox"/> 支援の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に実施されている。</p> </td> <td data-bbox="1332 772 1428 828"> <p>○</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="558 828 1332 884"> <p><input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、自立支援計画の内容が必要に応じて反映されている。</p> </td> <td data-bbox="1332 828 1428 884"> <p>○</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="558 884 1332 952"> <p><input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、職員や母親と子どもからの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。</p> </td> <td data-bbox="1332 884 1428 952"> <p>○</p> </td> </tr> </table>	<p>②</p>	<p>41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。</p>	<p>b</p>		<p><input type="checkbox"/> 支援の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が施設で定められている。</p>	<p></p>		<p><input type="checkbox"/> 支援の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に実施されている。</p>	<p>○</p>		<p><input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、自立支援計画の内容が必要に応じて反映されている。</p>	<p>○</p>		<p><input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、職員や母親と子どもからの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。</p>	<p>○</p>							
<p>②</p>	<p>41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。</p>	<p>b</p>																				
	<p><input type="checkbox"/> 支援の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が施設で定められている。</p>	<p></p>																				
	<p><input type="checkbox"/> 支援の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に実施されている。</p>	<p>○</p>																				
	<p><input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、自立支援計画の内容が必要に応じて反映されている。</p>	<p>○</p>																				
	<p><input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、職員や母親と子どもからの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。</p>	<p>○</p>																				
<p>【コメント】</p>																						
<p>支援の標準的な実施方法の検証・見直しは、個々の入所者の状況に応じて適宜行うこととしている。支援の内容を検証・見直しする際は、入所者の面接を行い、入所者の意見や提案を反映させることとしている。今後は、検証・見直しの時期や方法についても施設においてあらかじめ定めることにより、さらなる支援の質の向上に資するよう期待したい。</p>																						
<p>(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。</p>																						
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="406 1164 558 1232"> <p>①</p> </td> <td data-bbox="558 1164 1332 1232"> <p>42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。</p> </td> <td data-bbox="1332 1164 1428 1232"> <p>a</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="558 1232 1332 1288"> <p><input type="checkbox"/> 自立支援計画策定の責任者を設置している。</p> </td> <td data-bbox="1332 1232 1428 1288"> <p>○</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="558 1288 1332 1344"> <p><input type="checkbox"/> アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。</p> </td> <td data-bbox="1332 1288 1428 1344"> <p>○</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="558 1344 1332 1400"> <p><input type="checkbox"/> 部門を横断したさまざまな職種の関係職員（種別によっては施設以外の関係者も）が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。</p> </td> <td data-bbox="1332 1344 1428 1400"> <p>○</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="558 1400 1332 1456"> <p><input type="checkbox"/> 自立支援計画には、母親と子ども一人ひとりの具体的なニーズ、具体的な支援の内容等が明示されている。</p> </td> <td data-bbox="1332 1400 1428 1456"> <p>○</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="558 1456 1332 1512"> <p><input type="checkbox"/> 自立支援計画を策定するための部門を横断したさまざまな職種による関係職員（種別によっては組織以外の関係者も）の合議、母親と子どもの意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。</p> </td> <td data-bbox="1332 1456 1428 1512"> <p>○</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="558 1512 1332 1612"> <p><input type="checkbox"/> 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な支援が行われている。</p> </td> <td data-bbox="1332 1512 1428 1612"> <p>○</p> </td> </tr> </table>	<p>①</p>	<p>42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。</p>	<p>a</p>		<p><input type="checkbox"/> 自立支援計画策定の責任者を設置している。</p>	<p>○</p>		<p><input type="checkbox"/> アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。</p>	<p>○</p>		<p><input type="checkbox"/> 部門を横断したさまざまな職種の関係職員（種別によっては施設以外の関係者も）が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。</p>	<p>○</p>		<p><input type="checkbox"/> 自立支援計画には、母親と子ども一人ひとりの具体的なニーズ、具体的な支援の内容等が明示されている。</p>	<p>○</p>		<p><input type="checkbox"/> 自立支援計画を策定するための部門を横断したさまざまな職種による関係職員（種別によっては組織以外の関係者も）の合議、母親と子どもの意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。</p>	<p>○</p>		<p><input type="checkbox"/> 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な支援が行われている。</p>	<p>○</p>	
<p>①</p>	<p>42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。</p>	<p>a</p>																				
	<p><input type="checkbox"/> 自立支援計画策定の責任者を設置している。</p>	<p>○</p>																				
	<p><input type="checkbox"/> アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。</p>	<p>○</p>																				
	<p><input type="checkbox"/> 部門を横断したさまざまな職種の関係職員（種別によっては施設以外の関係者も）が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。</p>	<p>○</p>																				
	<p><input type="checkbox"/> 自立支援計画には、母親と子ども一人ひとりの具体的なニーズ、具体的な支援の内容等が明示されている。</p>	<p>○</p>																				
	<p><input type="checkbox"/> 自立支援計画を策定するための部門を横断したさまざまな職種による関係職員（種別によっては組織以外の関係者も）の合議、母親と子どもの意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。</p>	<p>○</p>																				
	<p><input type="checkbox"/> 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な支援が行われている。</p>	<p>○</p>																				
<p>【コメント】</p>																						
<p>施設長が責任者となり、世帯別自立支援計画および支援計画概要を策定している。高松市が主催する入所審査会において支援計画の内容を定期的に協議するほか、入所時と入所後1か月経過時に保健師や臨床心理士による面接を実施し、自立支援計画の内容の検証を実施している。支援困難事例の検討会もあらかじめ定めた時期に実施しており、入所者の状況に応じて、個別的な自立支援計画を適切に策定している。</p>																						

②	43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画どおりに支援が行われていることを確認する仕組みが構築され、機能している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、母親と子どもの意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 見直しによって変更した自立支援計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、支援を十分に実施できていない内容（ニーズ）等、支援の質の向上に関わる課題等が明確にされている。	○

【コメント】

前項目で述べた入所審査会において、入所後1か月、3か月、半年、1年に自立支援計画の検証・見直しを実施するほか、高松市と定例会を毎月開催し、全ての入所者に対し自立支援計画に沿った支援が実施されているか詳細に確認している。緊急に変更を要する場合における高松市への報告の方法や施設内の共有の方法についても、あらかじめ定められた方法によって適切に実施している。

(3) 支援の実施の記録が適切に行われている。

①	44 母親と子どもに関する支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの身体状況や生活状況等を、施設が定めた統一した様式によって把握し記録している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画にもとづく支援が実施されていることを記録により確認することができる。	○
	<input type="checkbox"/> 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等、部門横断での取組がなされている。	○
	<input type="checkbox"/> パソコンのネットワークシステムの利用や記録ファイルの閲覧等を実施して、施設内で情報を共有する仕組みが整備されている。	○

【コメント】

支援の実施状況の記録方法をマニュアル化し、職員によって差異が生じないように、職員間で常に確認を行っている。記録方法のマニュアルは定期的に見直しと周知を図っている。必要な情報が適宜届くよう、各種会議や職員回覧、引継ぎ、パソコンの共有フォルダーの活用等あらゆる方法を用いて情報共有が適切に図られている。

②	45 母親と子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a
	<input type="checkbox"/> 個人情報保護規程等により、母親と子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。	○
	<input type="checkbox"/> 個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。	○
	<input type="checkbox"/> 記録管理の責任者が設置されている。	○
	<input type="checkbox"/> 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。	○
	<input type="checkbox"/> 個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。	○

【コメント】

入所者の記録管理については施設長が責任者となり、厳重に管理している。個人情報保護法や高松市個人情報保護条例に基づき個人情報保護規程を整備し、その内容は全ての職員に周知し、日々の職員会で持出・保管体制や不適正な利用・漏えいの対策を確認している。また、入所者が安心して施設で生活できるよう、入所者に対しても個人情報の取扱いについて丁寧かつ適切に説明している。

内容評価基準（25項目）

A-1 母親と子どもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

(1) 母親と子どもの権利擁護		第三者 評価結果
①	A1 母親と子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	a
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの権利擁護に関する取組が周知され、規程・マニュアル等にもとづいた養育・支援が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 権利擁護に関する取組について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。	○
	<input type="checkbox"/> 権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて、関係機関等と連携を図り対応している。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの思想・信教の自由を保障している。	○
【コメント】		
施設は職員に対し、職員会やケース会、事例研究等の機会を確保し、利用者の権利擁護について周知徹底に努めている。職員は、それらの機会を通じて理解を深め、権利擁護についての規程やマニュアルに基づいた支援を実施している。職員一人ひとりが様々な立場から権利擁護について検討できるよう、ケース会や事例研究等は関係機関と連携して施設外の専門家を招いて実施している。		
(2) 権利侵害への対応		
①	A2 いかなる場合においても、職員等による暴力や脅かし、人格的辱め、心理的虐待、セクシャルハラスメントなどの不適切なかかわりが起こらないよう権利侵害を防止している。	a
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりがあった場合を想定し、施設長が職員と利用者の双方に事実確認や原因の分析等を行うことや「就業規則」等の規程に基づいて厳正に処分を行う仕組みがつけられている。	○
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりの起こりやすい状況や場面について、具体的な例を示しながら、研修や話し合いを行い、職員による不適切なかかわりを行わないための支援技術を習得させている。	○
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりの禁止を職員等に徹底するため、日常的に会議等で取り上げ、行われていないことを確認している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員からの暴力や言葉による脅かしなどの、不適切なかかわりが発生した場合に対応するためのマニュアル等を整備し、規程に基づいて厳正に対応している。	○
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりや暴力を見たり聞いたりしたら、管理者等に報告することを義務付けている。	○
【コメント】		
倫理綱領を掲示する、職員間で緊密に連携を図る、職員会や研修の場を設ける等、あらゆる方法を用いて職員による不適切なかかわりの予防・早期発見に努めている。万が一不適切なかかわりが発生した場合は、あらかじめ定めた規則により厳正に対応し直ちに高松市へ報告することとしている。施設は、いかなる場合においても職員による入所者への権利侵害を許さないという姿勢を明確にし、防止のための施策を徹底している。		
②	A3 いかなる場合においても、母親や子どもが、暴力や脅かし、人格を辱めるような不適切な行為を行わないよう徹底している。	a
	<input type="checkbox"/> 不適切な行為の防止について、具体的な例を示して、母親と子どもにも周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 不適切な行為に迅速に対応できるように、母親と子どもからの訴えやサインを見逃さないよう留意している。	○
	<input type="checkbox"/> 不適切な行為の防止を徹底するため、日常的に会議等で取り上げ、行われていないことの確認や職員体制の点検と改善を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 不適切な行為を伴わない人とのかかわりについて、母親や子どもに伝え、良好な人間関係の構築を図っている。	○
【コメント】		
施設は、支援の方針として寄り添い見守ることを基本としているが、職員は、入所者による不適切な行為が発生しないよう、入所者同士のかかわり方を見守るとともに必要に応じて他者や子どもに対する接し方を丁寧伝えていく。職員は利用者に対し、「不適切な行為」がどのようなものであるか、他者と良好な関係を構築するためにはどのような接し方が望ましいか、口頭による説明だけでなく、自身の姿勢を見せることによって理解を促している。		

③	A4 子どもに対する暴力や脅かし、人格を辱めるような不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりに迅速に対応できるように、子どもからの訴えやサインを見逃さないよう留意している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもが自分自身を守るための知識・具体的方法について学習する機会を設けている。	○
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりを伴わない子育てについて母親に伝え、良好な親子関係の構築を図っている。	○
	<input type="checkbox"/> 常に親子関係の把握に努め、適切な助言や支援を行っている。	○

【コメント】

職員は、入所者との日常のかかわりの中で、母親の子どもに対する言動や子どもの様子を丁寧に観察し、不適切な行為が発生していないか、子どもが安心して生活できているか把握するよう努めている。施設の方針として、指導や強要をすることなく、入所者の気持ちに寄り添い見守りながら必要に応じて助言や支援を行うよう努めることで、不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。

(3) 母親と子どもの意向や主体性の配慮

①	A5 母親や子どもが、自分たちの生活全般について自主的に考える活動（施設内の自治活動等）を推進し、施設における生活改善に向けて積極的に取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 子ども自身が自分たちの生活全般について、自主的・主体的な取組ができるような活動（施設内の自治会活動等）を母親の理解のもとで実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもが問題や課題について主体的に検討し、その上で取組、実行、評価するといった内容を含んだ活動を母親の理解と協力のもと実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 活動を通して、子どもの自己表現力、自律性、責任感などが育つよう必要な支援をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親が自らの権利を学び、自主的に自分の生活を改善していく力を養えるよう支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 母親の自治会活動等を通して、母親の自己表現力、自律性、責任感などに対する支援を行っている。	○

【コメント】

現在は入所者数が少なく入所している子どもが低年齢であるため、施設内の自治活動や子どもに対する勉強会等の実施は行っていないが、個別のなかかわりをより丁寧にしたり、施設内で母子の会や季節行事等を開催したりすることにより、入所者の自己表現力や責任感を培い自主的に自分の生活を改善しようとする力を養えるよう、生活改善に向けて施設全体で積極的に取り組んでいる。

(4) 主体性を尊重した日常生活

①	A6 日常生活への支援は、母親や子どもの主体性を尊重して行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 母親や子どもの自尊心や強みを大切に支援を行い、自己肯定感が回復し高まるような支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもに対してストレングスの視点に基づいて、エンパワメントしていく支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 常に母親と子どもの主体性を尊重した支援を通して、その人が力を発揮できるよう支援を行っている。	○

【コメント】

寄り添い見守ることを全ての支援の基本としており、職員は、入所者に対し指導や強制をすることなく入所者一人ひとりの主体性を尊重した支援を実施している。特に母親に対しては、入所前の生活の影響により主体性が培われにくい場合があるが、「できたこと」を認め自己肯定感が回復し高まるよう、丁寧な言葉掛けと受容を行うよう努めている。

②	A7 行事などのプログラムは、母親や子どもが参画しやすいように工夫し、計画・実施している。	a
	<input type="checkbox"/> 母親や子どもが施設での生活を楽しめるような企画を用意している。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの主体的な参画を前提とした行事・プログラムを用意している。	○
	<input type="checkbox"/> 母親向けのプログラムでは、母親が安心して参加し楽しめるように、保育などのサポートを行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親や子どもの状況を考慮し、参加しやすいように内容・時間等を工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 行事等の実施後に、評価を行い次回の実施につなげている。	○

【コメント】

母子の会、料理教室、ママの学びの会、菜園活動等、入所者の生活が充実するよう季節ごとに趣向を凝らした年間行事計画を策定し実践している。計画は入所者参画のもと策定され、入所者にとって主体的に活動できる貴重な経験となっている。行事の実施後は振り返りを行い、PDCAサイクルに則って次回に繋げている。

(5) 支援の継続性とアフターケア

①	A8 母親と子どもが安定した生活を送ることができるよう、退所後の支援を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 退所後の支援が効果的に行われるよう、退所後の支援計画を作成している。	
	<input type="checkbox"/> 退所した地域で安定して暮らすために、必要に応じて退所先の行政機関をはじめ、多様な地域の関係機関や団体とネットワークを形成し、母親と子どもが適切な支援が受けられるようにしている。	○
	<input type="checkbox"/> 退所後も電話や来所によって施設に相談できることを母親と子どもに説明し、生活や子育て等の相談や施設機能を活用した(学童保育・学習支援・施設行事への招待等)支援を提供している。	○
	<input type="checkbox"/> 退所後の生活が安定していることを確認するための往訪や架電等の取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて退所先に往訪し、介助や同行・代行等の支援を行っている。	

【コメント】

退所予定者には退所後も施設に相談できることを伝え、退所者から相談があった場合は電話・来所のいかなる場合でも必ず記録している。退所後も適切な支援が受けられるよう、アフターケア事業所を含めた地域の関係機関とネットワークを構築している。退所後の支援計画の策定や同行・代行支援は高松市が行うこととなっているが、退所後も効果的な支援を継続できるよう、施設としてのさらなる取り組みに期待したい。

A-2 支援の質の確保

(1) 支援の基本

		第三者 評価結果
①	A9 母親と子どもそれぞれの個別の課題に対応して、専門的支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもがそれぞれ抱える個別の課題に対して、目的や目標を明確にし計画的で一貫した専門的支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの課題を正しく理解し、親子・家庭のあり方を重視した支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもが、自己の意思で課題を解決できるように個々の気持ちに寄り添った支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 資料等を使いながら、必要な手続きをわかりやすく説明し、必要に応じて職員が機関等への同行及び代弁を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 専門的支援を行うために、その支援に必要な資格や経験等を考慮した職員を配置し、職員間で連携・協議を行っている。	○

【コメント】

自立支援計画に基づいて、入所者が抱える個々の課題の改善・解決に向けて個別に支援を実施しており、専門的な支援が必要な場合には、外部の専門家によるカウンセリングを実施し、職員間で共有している。職員は、入所者の気持ちに寄り添い見守ることで、入所者が自分の意思で決定し課題を解決できるよう支援している。

(2) 入所初期の支援

①	A10 入所に当たり、母親と子どもそれぞれのアセスメントに基づき、生活課題・ニーズを把握し、生活や精神的な安定に向けた支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 入所直後は心理的に不安になりやすいため、信頼関係の構築に心がけ、心の安定に向けた相談支援に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもが安心して施設を利用し、課題の解決に向かえるように、関係機関等と連携して情報提供に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもが保育所・学校に速やかに入所・通学できるよう支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて、生活用具・家財道具等の貸し出しを行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 居室は、母親と子どもが生活するために必要な十分なスペースが確保され、プライバシーに配慮したものとなっている。	○
	<input type="checkbox"/> 身体に障害のある母親や子どもに対しても、安全に生活ができるように配慮している。	○

【コメント】

入所前の見学時には、施設での生活がイメージできるようパンフレットや資料を用いて丁寧に説明を行っている。入所時は、関係機関と連携して入所背景やこれまでの支援内容をふまえた支援計画となるよう十分に協議し、少しでも早く安心して生活できるよう、生活用具や家財道具を用意している。居室は、世帯ごとに完全に別室となっており、母子が生活するために十分な広さとなっている。

(3) 母親への日常生活支援

①	A11 母親が、安定した家庭生活を営むために必要な支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 生活経験に乏しい母親には、職員と共に行うことで経験を補う等の支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 心やからだの健康に不安を持つ母親には、相談に応じたり、医療機関への受診を促したりするとともに、栄養管理等の食生活への支援を行うなど、ニーズに応じた健康管理のための支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて、衣服の清潔保持や入浴など、気持ちよく暮らすために必要な衛生面への支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 経済的に安定した生活を送るために、必要に応じて家計の管理、将来に向けた貯蓄等の相談や支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 支援の必要性やニーズに応じて、家事・育児等、日常生活全般について、代行や介助等の支援を行っている。	○

【コメント】

施設は、料理教室やママの会等の行事および職員との日々のかかわりを通じて、生活経験に乏しい入所者の経験を補うよう努めている。入所背景に鑑みると困難に感じる場合もあるが、入所者の自立を目指し、基本的な生活習慣や家事・育児等の日常生活全般について、入所者自身で行えるよう、入所者の個々の状況に応じて丁寧に支援している。

②	A12 母親の子育てのニーズに対応するとともに、子どもとの適切なかわりができるよう支援している。	a
	<input type="checkbox"/> 母親の育児に関する不安や悩み等の発見に努め、その軽減に向けた相談や助言、介助等を行うとともに、必要に応じて保育の提供や保育所へつなぐ等の支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親の状況に応じ、子どもの保育所・学校等への送迎の支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親が子どもを客観的に理解できるように、発達段階や発達課題について示し、適切な子育てやかかわりについてわかりやすく説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 虐待や不適切なかかわりを発見した時は職員が介入し、必要に応じて専門機関との連携を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて、子どもが通う保育所や学校と連携している。	○

【コメント】

運営法人はこれまで保育事業を中心に活動しており、運営法人がこれまでに培ってきた子育てに関する知識や経験を施設の運営に生かしている。特に職員は全員保育士免許を取得しており、母親の育児に関する不安や悩みに寄り添い、母親が子どもの発達段階や特性に応じたかわり方ができるよう、丁寧に支援している。関係機関とも緊密に連携する、必要に応じて送迎支援を行う等、母親の子育てのニーズに適切に対応してしている。

③	A13 母親が安定した対人関係を築くための支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 母親が職員とつながっていることを実感できるよう、様々な場面で気軽に声をかけたり、相談に応じるなどの取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設を自分の居場所として感じられるように、母親どうしが集うための機会や場を設け、交流を促すなどなど、関係づくりのための支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 対人関係がうまくできない母親には、母親のペースに合わせた関係性の構築に配慮を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 社会との関係をとることの難しさから対人関係にストレスを生じている場合は、そのストレスの軽減が図られるよう、心理療法を行ったり相談に応じたりしている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設内の他の母親や子どもとの間でトラブルが生じたときに、その関係性を修復もしくは改善するための支援を行っている。	○

【コメント】

職員は、入所者に様々な場面で気軽に声を掛けるようにしているが、特に利用者の外出時と帰宅時の言葉掛けを意識して行っている。門扉から玄関までは約5mの距離があり、職員と入所者、もしくは入所者同士が気軽に集い話せる重要な「トークロード」として機能している。職員は、入所者が安定した対人関係を築けるよう、個々の気持ちに寄り添い、丁寧に傾聴し見守るよう努めている。

(4) 子どもへの支援

①	A14 健やかな子どもの育ちを保障するために、養育・保育に関する支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもの成長段階、発達段階に応じた養育支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 放課後の子どもの生活の安定や活動を保障し、活動場所、プログラム等を用意するとともに、日常生活に必要な知識や技術の伝達、遊びや行事等を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> DVを目撃した子どもを含め、被虐待児等や発達障害を含む様々な障害等の特別な配慮が必要な子どもに対しては、必要に応じて個別に対応し、子どもの状況に応じた支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親のニーズや状況に応じて、施設内の保育支援や保育所への送迎、通院の付き添いなどの支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設内における養育・保育に関する記録を整備し、支援に役立てている。	○

【コメント】

運営法人は保育事業を運営しており、そこで培った知識や経験を生かして子どもの成長段階や発達段階に応じた養育支援を積極的に行っている。送迎・通院支援や施設内の保育支援のほか、入所背景により子どもの心理的なケアが必要な場合もあるが、関係機関や運営法人と連携しながら子どもの状況に応じて支援している。施設内における養育・保育の支援の記録も、適切に保管し、支援に役立てている。

②	A15 子どもが自立に必要な力を身につけるために、学習や進路、悩み等への相談支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 落ち着いて学習に取り組める環境を整え、年齢に応じた適切な学習支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 学習の習慣を身につけるとともに、学習への動機づけを図っている。	○
	<input type="checkbox"/> 進学や就職への支援について、母親と子ども双方の意向をくみ取り、学校と連携して情報提供を行いながら、具体的な目標を定めている。	○
	<input type="checkbox"/> 学費の負担軽減のため、各種の奨学金や授業料の減免制度等の活用への支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 学習指導のために学習ボランティア等の協力を得ている。	○
	<input type="checkbox"/> 子ども一人一人の個性を重視した相談・支援を行っている。	○

【コメント】

学校と連絡帳を交換する、学習室を提供する、学習支援のために職員を配置する等、就学児童が入所している場合には積極的に学習支援を行っている。また、子どもの進路希望に応じて、退所後でも奨学金制度やデイサービスの利用について情報提供を行い相談に応じている。子どもが自立に必要な力を身につけられるよう、丁寧に支援している。

③	A16 子どもに安らぎと心地よさを与えられるおとなのかかわりや、子どもどうしのつきあいに配慮して、人との関係づくりについて支援している。	b
	<input type="checkbox"/> 母親以外のおとなにも受け入れられたり、甘えられたりする経験を増やし、おとなとの信頼関係が構築できるよう支援している。	○
	<input type="checkbox"/> ボランティアや実習生など、様々なおとなとの出会いの機会を設け、多様な価値観、生き方への理解をすすめている。	○
	<input type="checkbox"/> 悪意や暴力のないおとなモデルを提供することで、おとなに信頼感を持てるよう支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 自分の気持ちをこぼさず適切に表現し相手に伝えることについて、日常生活の中でその方法を意識的に伝え、その能力が向上するよう支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 専門的なプログラムに基づいたグループワークを積極的に取り入れている。	○

【コメント】

母親以外の大人から受容される経験を育み信頼関係が構築できるよう、また、様々な大人と出会うことで多様な価値観や生き方があることを学べるよう、日々の職員とのかかわりはもちろん、地域の行事や自治会活動等による近隣住民や実習生等とふれあえる機会を設けている。今後は、子どもの個々の状況に応じてコミュニケーション能力や感情教育等の専門的な支援を積極的に取り入れることにより、なお一層支援内容が充実されることに期待したい。

④	A17 子どもの年齢・発達段階に応じて、性についての正しい知識を得る機会を設け、思いやりの心を育む支援を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 性をタブー視せず、子どもの疑問や不安に正確な知識を持って応えている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員間で性教育に関する知識や、性についてのあり方などの学習会を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 年齢、発達段階に応じて、性についての正しい知識、関心が持てるよう支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 年齢に応じた性教育の計画があり、正しい性知識を得る機会を設けている。	
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて外部講師を招く等して、性教育のあり方について学習会などを職員や子どもに対して実施している。	

【コメント】

職員は、性をタブー視せず、子どもの年齢や発達段階に応じて日々のかかわりの中で正しい知識を持てるよう支援している。施設は、未就学児の多い現状のため必要性に鑑みると性教育を計画し学習会や研修の機会を確保するところまでは困難だと考えているが、入所している子どもの今後やこれから入所する子どものために、性教育のあり方についてより検討を進められることを期待したい。

(5) DV被害からの回避・回復

①	A18 母親と子どもの緊急利用に適切に対応する体制を整備している。	a
	<input type="checkbox"/> 緊急時に備えて、夜間でも対応できる体制を構築している。	○
	<input type="checkbox"/> 24時間の受け入れや広域利用など、広く母親と子どもの緊急利用を受け入れている。	○
	<input type="checkbox"/> 役割分担と責任の所在を明確にし、配偶者暴力相談支援センター・警察署・福祉事務所等との連絡調整体制を整えている。	○
	<input type="checkbox"/> 緊急時対応マニュアルを作成・整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 緊急利用のための生活用品等を予め用意している。	○

【コメント】

高松市や香川県子ども女性相談センター等関係機関と連絡調整体制を整えているが、受け入れは緊急性の有無にかかわらず高松市からの要請によって行うこととしており、受け入れ時は緊急時・通常時のそれぞれに定めた対応マニュアルに沿って適切に対応している。県内唯一の母子生活支援施設であるため高松市外からの受け入れにも応じており、緊急利用時でも問題なく生活できるよう環境を整備している。

②	A19 母親と子どもの安全確保のために、DV防止法に基づく保護命令や支援措置が必要な場合は、適切な情報提供と支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 保護命令制度や支援措置・DV相談証明の活用について、情報提供を行うとともに、必要に応じて法的手続きのための同行等の支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 弁護士や法テラスの紹介や調停・裁判などへの同行等、さらに必要に応じて代弁等の支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> DV加害者に居所が知れ、危険が及ぶ可能性がある場合には、母親と子どもの意向を確認した上で、速やかに関係機関と連携し、保護命令の手続きや他の施設への転居等の支援を行っている。	○

【コメント】

施設は、入所者に保護命令制度や支援措置の活用について説明を行い、必要に応じて弁護士や法テラスの紹介、調停・裁判への同行等の支援を行っている。特にDV被害を受けた入所者に対しては、関係機関と連携し安全確保を第一に利用者の意向を確認しながら慎重に支援を行っている。

③	A20 心理的ケア等を実施し、DVの影響からの回復を支援している。	a
	<input type="checkbox"/> DVについての正しい情報と知識を提供し、DV被害者の理解を促し、自己肯定感を回復するための支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> DVから脱出することができたことを評価し、安心して安定した生活と幸せな未来について、職員と一緒に考え支援することを伝えている。	○
	<input type="checkbox"/> 心理療法を活用し、医師やカウンセラーと情報交換を行いながら、より適切な支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて、自助グループや外部の支援団体等の紹介を行っている。	○

【コメント】

職員は、入所者の癒しと自立に向けて、職員との日々のかかわりの中で自己肯定感を高め安心して生活を送れるよう丁寧に支援している。入所者の求めによって随時相談に応じるほか、定期面談を年2回実施する、個々の状況に合わせて外部の専門家によるカウンセリングを受けさせる、アフターケア事業所を紹介する等、入所者のDVの影響から回復に向けた様々な支援を実施している。

(6) 子どもの虐待状況への対応

①	A21 被虐待児に対しては虐待に関する専門性を持ってかわり、虐待体験からの回復を支援している。	b
	<input type="checkbox"/> 暴力によらないコミュニケーションを用いるおとなのモデルを職員が示している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもと個別に関わる機会を作り、職員に自分の思いや気持ちを話せる時間を作っている。	
	<input type="checkbox"/> 子ども一人ひとりがかけがえのない大切な存在であることを伝えることや、感情表現を大切にすることで、自己肯定感や自尊心の形成に向けた支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 医療機関や児童相談所などの関係機関と必要な情報の交換を行いながら、より適切な支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 心理療法担当職員によるカウンセリング等の専門的ケアを実施している。	
	<input type="checkbox"/> 被虐待児に対する支援の専門性を高めるための職員研修等を行っている。	○

【コメント】

施設は、被虐待児に対する支援の職員研修や援助困難事例の検討会の機会を確保し、職員の専門性を高められるよう努めている。職員は、これらの機会によって得た知識をもとに子どもが大人から受容されながら成長できるよう支援している。専門的な養育よりも母親と一緒に家庭的な雰囲気の中で子どもにかかわることを優先しているが、今後は、被虐待児に対する専門的な支援の必要性を検討し、施設での生活ならではの取り組みの充実に期待したい。

(7) 家族関係への支援

①	A22 母親や子どもの家族関係の悩みや不安に対する相談・支援を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 母親の家族関係の悩みや不安を受け止め、相談に応じている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの家族関係の悩みや不安を受け止め、相談に応じている。	○
	<input type="checkbox"/> 家族の中に感情の行き違いや意見の相違がある場合、適切に介入し調整を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて、他の親族との関係調整を行っている。	

【コメント】

入所者の悩みや相談について、職員が日々のかかわりを丁寧に行うことにより把握し、入所者の気持ちに寄り添った支援によって解決を図れるよう努めている。施設としては入所者の意向を尊重することとしており、入所者の家族や親族との関係調整は高松市が行うこととしているが、年々複雑多様化する入所背景に鑑みて、入所者の自立のためには家族や親族との関係調整においてこういった支援が求められるかを施設として検討されることを期待したい。

(8) 特別な配慮が必要な母親、子どもへの支援

①	A23 障害や精神疾患、その他の配慮が必要な母親と子どもに対する支援を適切に行い、必要に応じて関係機関と連携している。	a
	<input type="checkbox"/> 社会資源の積極的な活用をするための支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 公的機関や就労先、保育所や学校等と連携した支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 精神疾患があり、心身状況に特別な配慮が必要な場合、同意を得て主治医との連携のもと、通院同行、服薬管理等の療養に関する支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 障害や精神疾患がある場合や外国人の母親や子どもへは、必要に応じて公的機関、就労先への各種手続きの支援を行ったり、保育所、学校等、他機関と連携し情報やコミュニケーション確保の支援を行っている。	○

【コメント】

精神疾患の治療を要する入所者への医療機関の受診や、子どもの保育所や学校との情報交換、デイサービスの公的支援の情報提供等、配慮が必要な入所者に対して関係機関と連携しながら個別的に支援を実施している。公的機関や就労先に必要な手続きについても、入所者が理解して自分の意思で選択できるよう丁寧に説明し、入所者の意向に沿って手続きのための同行や代弁を行うよう努めている。

(9) 就労支援

①	A24 母親の職業能力開発や就労支援を適切に行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 母親の心身の状況や能力・適性・経験・希望に配慮した支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 資格取得や能力開発のための情報提供や支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 公共職業安定所以外にも、パートバンクや母子家庭等就業・自立支援センター等、様々な機関との連携や調整、必要に応じて、同行や職場開拓等の支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親が安心して就労できるように補完保育（残業や休日出勤時の保育等）、病後児保育、学童保育などを行っている。	○

【コメント】

施設は、母親の心身の状況や能力、経験等に応じて職業能力開発や就労のための情報提供を行い、ともに考え行動することで主体性を尊重した就労支援を実施している。補完保育については、入所者の退所後の生活を見据えてあえて最小限に抑えるよう努めている。施設全体で、入所者の自立を見据えた就労支援を適切に行っている。

②	A25 就労継続が困難な母親への支援を行い、必要に応じて職場等との関係調整を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 職場環境、人間関係に関する相談や助言など、個々に対応した幅広い支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親が望む場合、就労継続のために職場との関係調整を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 障害がある場合や外国人の母親の場合、その心身等の状態や意向に配慮しながら、就労の継続に向けての支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 就労継続が困難な母親を積極的に受け入れている。	○
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて福祉的就労の活用を図っている。	○

【コメント】

職員は、日々のかかわりの中で母親が職場環境や人間関係に悩みを抱えていないか把握するよう努め、相談があった場合は丁寧に応じている。母親が自立に向けて継続して就労できるよう、母親の心身の状態や意向に沿った就労支援に努め、福祉的就労を活用する場合には、就労先との関係調整を行うこととしている。